

加 茂 名 南 小 学 校 総 括 評 価 表

(No.1)

| 重点課題 | 重点目標 | 自 己 評 価 | | | 学校関係者評価 学校関係者の意見 | 次年度への課題と 今後の改善方策 |
|----------|--|---|--|---|---|---|
| | | 評価指数と活動計画 | 評 価 | 総合評定 | | |
| 確かな学力の育成 | <p>①「わかる授業」で子どもの意欲を高め、学力の向上を図る。</p> <p>②基礎的基本的な知識・技能の確実な習得を図る。</p> <p>③体験活動を充実し、知識・技能を活用して自ら考え、判断し、表現する力を育成する。</p> <p>④授業において様々な文章を読む機会や自分の考えを筋道を立てて文章で書いたり、話したりする機会を積極的に設ける。</p> <p>⑤読書活動を充実する。</p> <p>⑥特別な支援を必要とする児童へ指導・支援を充実する。</p> <p>⑦「家庭学習の手引き」を活用し、家庭と連携しながら、児童の家庭学習の定着を図る。</p> | <p>評価指数</p> <p>①「学習がよくわかる」と回答の児童が90%以上。また、「お子様は学習していることがよくわかっている」と回答の保護者が90%以上。</p> <p>②「基礎的基本的な学習を理解している」と回答の教師のポイントが昨年度を上回る。</p> <p>③「自分の思いや考えを伝える力が育っている」と回答する教師のポイントが85%以上にする。</p> <p>④児童の取り組みについて、毎月1回学年日より等で紹介する。</p> <p>⑤「進んで読書をしようとしている」と回答する教師のポイントが昨年度を上回る。また、読書が好きな児童が70%以上。</p> <p>⑥「校内の支援体制が有効に機能している」と回答の教師のポイントが昨年度を上回る。</p> <p>⑦「宿題や家庭学習を進んでいる」のポイントが80%以上にする。</p> | <p>評価指数の達成度</p> <p>①児童88.2%で達成できなかった。保護82.4%で達成できなかった。</p> <p>②教師1.9(昨年1.9)で横ばい。上回ることはできなかった。</p> <p>③教師75%で達成できなかった。</p> <p>④学年日より、「なんなんタイムズ」、ホームページで活動を紹介することができた。</p> <p>⑤教師1.9(昨年1.8)で達成できた。読書が好きな児童は、69.8%(昨年74.2%)で達成できなかった。</p> <p>⑥教師2.0(昨年1.9)で達成できた。</p> <p>⑦「宿題や家庭学習を進んでいる」と回答した児童81.2%で達成することができた。</p> | <p>総合評定</p> <p>(評定)</p> <p style="font-size: 2em;">B</p> <p>(所見)</p> <p>○教員がわかる授業の工夫改善に努め、学力向上に努めた。</p> <p>○基礎基本の学習が定着しつつあるが、一部の児童に十分な支援が必要である。</p> <p>○絵本の読み聞かせにより、読書習慣が育ちつつあるが継続することが必要である。</p> <p>○学年副担任制により、担任と副担任の教師との連携・協力することができた。</p> | <p>○「学力向上」を重点目標として掲げ、研修会や授業研究を実施するなどよく頑張っていた。</p> <p>○先生方は、学習指導や生活指導を個に応じた実践していただき、成果がでている。今後も引き続き指導してください。</p> <p>○子どもたちが「思いを伝え合う」ことができるように、言語環境を整備し、言語活動の充実を図ってください。</p> <p>○教職員の自己評価について、ポイントが下がった項目について来年度の課題としてください。</p> | <p>○日々の授業改善の努力と問題解決的な授業づくりを行い、「わかる授業」楽しい授業づくりに一層努める。</p> <p>○「思いを伝え合う」を研修テーマとして授業実践に取り組んだ成果を生かし、今後も思考力・表現力の育成に取り組む。</p> <p>○図書室やオープンな図書書を充実させていくとともに、家庭での読書時間を増やすよう啓発する。</p> <p>○家庭学習の手引きを活用し家庭学習の定着を図る。</p> <p>○教育環境づくりに配慮する。</p> |
| | | <p>活動計画</p> <p>①学習意欲を高める指導方法の工夫改善を行う。</p> <p>②-1 朝の活動の充実を図る。</p> <p>②-2 繰り返し学習、家庭学習を充実する。</p> <p>③体験活動の取り入れの授業の充実を図ることにより思考力・判断力・表現力を育成する。</p> <p>④図書の充実と整理。ボランティアの活用。</p> <p>⑤-1 特別支援教育の充実を図るため、適切な就学指導を実施する。</p> <p>⑤-2 個に応じた授業改善を図る。</p> | <p>活動計画の実施状況</p> <p>①「思いを伝え合う」を研修テーマとして授業研究会を計画的に実施し授業のスキルアップを図った。</p> <p>②朝の活動を8時10分スタートとし、漢字・計算・読書を行う。毎週水曜日に様々な朝の体操を実施した。</p> <p>③地域の方やゲストティーチャー等を積極的に活用や、地域社会との交流(地域の探検や施設の見学)を通してコミュニケーション能力の育成を図った。</p> <p>④積極的に学校図書館活用を呼びかけるとともに図書室の環境整備を季節毎に行った。また、「なんなんお話ポケット」による読み聞かせを実施。</p> <p>⑤特別支援コーディネーターを複数配置し、有効に機能する校内支援体制づくりを継続して行った。</p> | | | |
| 豊かな心の育成 | <p>①自分の思いを伝え、また友達の気持ちも理解できるようにする。</p> <p>②集会活動やボランティア活動等の充実を図り、豊かな心や主体的な態度を育てる。</p> <p>③気持ちのよい挨拶や「はい」の返事ができるようにする。</p> <p>④「0分スタート、0分終了」を徹底し、学習リズムの定着を図る。</p> <p>⑤落ち着いて話を聞き、集中して取り組む等けじめのある態度を育てる。</p> <p>⑥地域の自然や文化・人々との関わりを大切にする。</p> | <p>評価指標</p> <p>①「子どもたちに友達を思いやる優しい気持ちが育っている。」の教師のポイントが2.0以上で、昨年を上回る。</p> <p>②「集会・ボランティア活動の充実を図ることができた。」の教師のポイントが85%以上にする。</p> <p>③「あいさつや正しいことばづかいができていく。」の回答の児童80%以上、保護者80%以上、教師のポイントが昨年を上回る。</p> <p>④「0分スタート、0分終了」の取り組みを徹底する。</p> <p>⑤「学習のきまりや生活のきまりを守っている。」の回答の児童が80%以上、保護者80%以上。教師のポイントが昨年を上回る。</p> <p>⑥「地域と連携協力した取組を積極的に取り入れることができている。」のポイントが昨年度を上回る。</p> | <p>評価指数の達成度</p> <p>①教師のポイントは、1.7(昨年1.8)で達成することができなかった。</p> <p>②教師のポイントは、84.4%(昨年78.6%)で達成することができなかった。</p> <p>③児童の回答は83.7%で達成できた。保護者の回答は75.1%で達成できなかった。教師のポイントは59%(昨年39%)で達成。</p> <p>④「0分スタート、0分終了」を全学級で取り組んだ。</p> <p>⑤きまりを守っている児童が89%で達成できた。保護者の回答は85.8%で達成できた。教師は1.5(昨年1.6)で達成できなかった。</p> <p>⑥達成率90.6%(昨年85.7%)で達成できた。</p> | <p>(評定)</p> <p style="font-size: 2em;">B</p> <p>(所見)</p> <p>○人権教育の充実を図り、互いのよさを認め合う集団づくりを行う。</p> <p>○自主的な児童会活動ができるよう指導・支援する。</p> <p>○日常の挨拶や礼儀について共通理解を図り、指導を行っているが十分でない。</p> <p>○学校のきまりについて共通理解のもと、全職員で今後も重点的に取り組む。</p> | <p>○挨拶は地域の方や交通立哨当番の保護者、ボランティアの方には、よくできている。</p> <p>○規範意識の低い子どもも一部いるが、先生方は子どもたちとしっかり向き合い、適切な指導ができている。</p> <p>○学校が困った時には、地域や関係機関、保護者との連携・協力をする。</p> | <p>○他者との関わり方を身につけていくことができるように努める。</p> <p>○互いのよさを認め合い、「共に生きること」が実感できる集団づくりを行う。</p> <p>○年3回実施した「いじめに関する調査」では、いじめの認知件数は、昨年度に比較して減少している。今後もいじめ解消に向けた指導を継続する。</p> <p>○学級における一人一人の存在価値を自覚させ、自己肯定感や有能感の高揚を図る。</p> <p>○今後も日常の挨拶や礼儀について、共通理解を図り、継続して指導を行う。</p> |
| | | <p>活動計画</p> <p>①人権尊重を基本においた教育活動や学級経営を行う。</p> <p>②児童会活動による集会・ボランティア活動等の充実を図る。</p> <p>③あいさつ運動の実施。</p> <p>④学習のきまりや生活のきまりを児童に指導。</p> <p>⑤地域と連携協力をした取り組みを積極的に取り入れる。</p> | <p>活動計画の実施状況</p> <p>①一人一人の児童の思いや願いを把握して生徒指導にあたる。また、全教育活動で人権感覚を高める指導を行う。</p> <p>②自主的な児童会活動ができるように指導・支援を継続して行う。</p> <p>③児童会のあいさつ運動や教職員が率先垂範する。</p> <p>④生徒指導主任を中心に、全教職員の共通理解を図り、組織で指導にあたる。</p> <p>⑤地域の探検や公共施設の見学などを通してコミュニケーション能力を高める。また、地域方やゲストティーチャーを積極的に活用する。</p> | | | |

「評定」の基準 A：十分達成できた B：おおむね達成できた C：達成できなかった
加 茂 名 南 小 学 校 総 括 評 価 表 (No.2)

| 重点課題 | 重点目標 | 自己評価 | | 学校関係者評価 学校関係者の意見 | 次年度への課題と 今後の改善方策 | |
|------------|--|---|--|---|--|---|
| | | 評価指数と活動計画 | 評価 | | | |
| 健やかな体の育成 | ①体を動かす楽しさが味わえるような工夫し、体力の向上を図る。 ②外遊びや徒歩による登下校を推進する。 ③「早寝・早起き・朝ご飯」を推進し、食育や健康・安全に関する学習を充実する。 | 評価指標 ①-1 新体力テストで D, E 評価を 30% 未満にする。 ①-2 「運動の楽しさを味わえるように授業を工夫することができた。」教師のポイントが 2.2 以上。 ② 「休み時間に外で元気に遊んでいる」と回答の児童が昨年より上回る。 ③ 「早寝・早起き・朝ご飯ができています」の回答の児童 85% 以上、保護者 85% 以上。 | 評価指数の達成度 ①-1 新体力テストの結果 4 年(36%), 5 年(25%), 6 年(19%) でほぼ達成できた。 ①-2 授業の工夫改善については 2.0 (昨年 1.8) で目標の達成には至らなかった。 ② 児童の回答は 74.2% (昨年 73.2%) で達成することができた。 ③ 児童は 84.4% でわずかに及ばなかった。保護者も、84.9% で達成できなかった。 | (評定) B (所見) ○新体力テストの結果が目標値に近づいた。 ○体育の授業の工夫を行い、体力の向上を図った。 ○外遊びを通じて体力づくりに励む児童が増加してきた。 ○「生活習慣に関するアンケート」を全学年で実施し、基本的な生活習慣の定着を意識づけた。 | ○子どもの体力の向上のために授業内容や集会などを工夫しよく取り組んでいる。 ○外遊びをする子どもが増加しているのはいいことである。体力向上のため今後も継続していただきたい。 ○放課後や休日に外で遊ぶ場所が地域にないのが残念である。 | ○さらに体育の授業の工夫による体力向上を図る。 ○保護者との連携・協力による体力の向上を図る。 ○食育リーダーを中心に食育を推進するために各学年で食育に関する授業を実施する。 ○健康・安全教育の充実を図る。 |
| | | 活動計画 ①運動の楽しさが味わえるように授業等を工夫する。 ②休み時間の確保と体育館の開放。徒歩登下校の保護者への協力要請。 ③「早寝・早起き・朝ご飯」の保護者への啓発と協力要請。 | 活動計画の実施状況 ①-1 学校独自の体育科カリキュラムの作成 ①-2 体力向上を支援する体育授業の工夫改善 ①-3 小体連 3 事業・クロスカントリーへの練習参加の奨励 ①-4 「全校なわとび集会」の実施、「元気アップチャレンジランキング」への参加 ②-1 昼休みの学年ごとの体育館の開放し、運動遊びの奨励 ②-2 教師が率先して外で児童と遊ぶ。 ③学年だより等で徒歩通学の奨励、朝食の重要性、睡眠時間の確保の有効性を伝える。 | | | |
| 信頼される学校づくり | ①学校教育活動アンケートを実施し、学校教育活動の改善に努める。 ②ホームページ等で学校での教育活動の様子を積極的に発信する。 ③学校行事等への積極的参加を呼びかける。 ④「加茂名南小子ども安全見守り隊」等の学校安全体制を充実する。 | 評価指標 ①学校行事後に教職員や保護者にアンケートを実施。 ②-1 ホームページの更新を最低 1 ヶ月に 1 回と学校行事等の様子を写真等で発信する。 ②-2 「学校は経営方針や教育活動等をわかりやすく伝えている。」と回答の保護者が 80% 以上 ③-1 学校行事等への参加者を案内文書で呼びかける。 ③-2 「地域と連携協力した取組を積極的に取り入れることができています。」と回答した教職員のポイントが昨年を上回る。 ④地域や保護者の協力と教職員の校区内巡視を 1 週間に 1 回以上実施する。 | 評価指数の達成度 ①教職員は実施でき、改善に繋げることができた。 ②-1 学校行事を実施後、ホームページへの掲載ができた。 ②-2 保護者 81.9% (昨年度 79.3%) で達成できた。 ③-1 保護者への案内は達成できたが、参加者が少ない行事もあった。 ③-2 教職員 1.9 (昨年 2.0) で達成できなかった。 ④-1 登下校の見守り隊による巡視を毎日実施できた。教職員もほぼできた。 ④-2 不審者情報がほとんどなかった。 | (評定) B ○学校ホームページによる情報発信を行った。 ○PTA や地域と連携した学校行事や地域行事(どんど焼き、自主防災訓練)ができた。 ○地域の方や警備員によるパトロールで不審者の出没の情報がほとんどなかった。 | ○子どもたちや地域の実態にあった教育活動がなされている。 ○地域との連携は十分できている。 ○PTA の参加率が低い行事は、内容や方法を再度検討し改善する。 ○「子ども安全見守り隊」の活動は定着している。 ○先生方は、信頼される学校づくりのために日々努力している。 | ○学校の教育活動を PDCA サイクルで見直し改善する。 ○ホームページの内容の充実と情報発信の充実を図る。 ○学校行事等への積極的な参加への呼びかけをする。 ○地域、保護者、関係諸機関との一層の連携を図る。 ○「子ども安全見守り隊」の活動の継続と保護者への協力要請をする。 |
| | | 活動計画 ①学校行事終了後に教職員、保護者や参加者にアンケートの実施。また、学校評価(教職員、児童、保護者)の実施。学校関係者評価の実施。 ②ホームページ、「学校だより」「学年だより」による教育活動の発信。 ③地域や関係諸機関との連携による行事の実施。 ④-1 地域ボランティアの「子ども安全見守り隊」によるパトロールを実施。 ④-2 教職員の定期的な下校時の校区内巡視を行う。 | 活動計画の実施状況 ①教職員は、学校行事終了後のアンケートを実施できた。「保護者」「児童」「教職員」によるアンケート(学校評価)を実施。アンケート結果を保護者に報告。学校関係者評価も実施できた。 ②ホームページの更新し、「学校だより」「学年だより」の定期的に発行する。 ③「夏のお話会」「PTA 文化祭」「星空観察会」を実施。 ④-1 10 人の方が登録し、登下校時にパトロールを実施した。 ④-2 1 週間に 1 回実施。 | | | |